

朗 読 会

朗読会は講演とセットの催しです。

6月29日（土）13時35分～14時15分

＜安曇野市穂高交流学习センター「みらい」＞

多目的ホール（安曇野市中央図書館）＞

伊東秀一さん -----

「わが児に与う」『暗黒日記』（清沢洌）より



テレビ信州解説委員兼アナウンサー。1965年長野市出身。上田市・無言館の朗読会『戦争を読む』出演ほかナレーション多数。信州大学特任准教授

7月21日（日）13時35分～14時05分

＜諏訪市図書館 視聴覚ホール（2階）＞

中澤由佳さん -----

『小説に書けなかった自伝』（新田次郎）



岡谷市在住の朗読家 中澤由佳 朗読教室主宰 朗読・読み聞かせボランティアグループ「言の音の輪」代表 朗読で笑顔の種蒔きをキーワードに朗読活動を行っている。

10月26日（土）13時35分～14時05分

＜飯山市文化交流館なちゅら 小ホール＞

藤原里瑛さん -----

『千曲川のスケッチ』（嶋崎藤村）より

「兎追いし彼の山」（岡田喜秋）



テレビ信州アナウンサー。1984年岩手県出身。『ゆうがた Getevery』金曜 MC・キャスター。ドキュメンタリー番組のナレーション多数

映 画 会

11月28日（木）13時～16時 長野グランドシネマズ（長野市権堂町）

参加費 1,000円

13：00～14：40 映画「野菊の如き君なりき」 35mmフィルム上映

一千曲川流域の美しい自然を舞台に綴られる、少年少女のはかない恋のゆくえ。1955年、松竹制作。木下恵介監督。笠智衆、杉村春子等。ー

14：45～16：00 講演「信州を舞台にした戦後の名作映画」

講師：酒井春人氏



龍鳳書房代表取締役、長野県出版協会代表。著書『図説穂高神社と安曇族』

論文「佐久間象山の思想試論」（『長野県近現代史論集』所収）、「長野県出版界の歩み」等



©1955 松竹株式会社

＜お問い合わせ＞

長野県図書館協会事務局

TEL.026-217-9201

E-mail nla@nagano-la.com

信州横断

昭和・現代史講座

～現代の視点から信州の昭和・現代史を学ぶ～

第2期 令和6年6月～令和7年2月

長野冬季五輪 開幕



信濃毎日新聞 1998年2月7日付 号外

史上最多72の国・地域3500人参加

（信濃毎日新聞社提供）

★ 受講料無料

ただし11月28日（木）の映画「野菊の如き君なりき」の参加費は1,000円です。

主催 長野県図書館協会・公共図書館部会・企画実行委員会

共催 公益財団法人八十二文化財団・安曇野市教育委員会・諏訪市図書館

佐久市教育委員会・市立飯山図書館・松本市中央図書館

県立長野図書館・信州大学附属図書館

後援 信濃毎日新聞社・信濃史学会・高井地方史研究会・長野郷土史研究会

（１）戦中から現代を映す鏡・『暗黒日記』

6月29日（土） 13時30分～16時

安曇野市穂高交流学习センター「みらい」多目的ホール（安曇野市中央図書館）

13：35～14：15 朗読「わが児に与う」『暗黒日記』より

14：20～15：50 講演「清沢洌の思想と言論活動ーその現代的意義を探るー」

講師：渡辺知弘氏



（２）信州を舞台にした戦後の文学作品

7月21日（日） 13時30分～16時 諏訪市図書館 視聴覚ホール（2階）

13：35～14：05 朗読『小説に書けなかった自伝』

14：10～15：50 講演 新田次郎の『霧の子孫たち』

講師：堀井正子氏



（３）若者と長野県現代史

7月30日（火）13時30分～15時30分 八十二別館 4階 AV研修室

13：35～15：05 講演「若者が学ぶ長野県現代史

ー身近な歴史事象（教材）に問いかけるー」

講師：望月 誠氏

本講座は事前申込制です。電話または八十二文化財団ホームページよりお申込みください。

Tel 026-224-0511 URL <https://www.82bunka.or.jp/>



（４）戦後の女性の社会参加

9月14日（土）13時30分～15時30分 佐久平交流センター 視聴覚室（3F）

13：35～15：05 講演「生きている限りは自分を新しく

ーもろさわようこを読むー」

講師：河原千春氏



★いずれも講演後に意見交換会を予定しています。

★朗読会の詳細は裏面を参照してください。

（５）千曲川と飯山ー新たなふるさとづくり～高野辰之と島崎藤村～

10月26日（土） 13時30分～16時10分 飯山市文化交流館なちゅら 小ホール

13：35～14：05 朗読『千曲川のスケッチ』より・「兎追いし彼の山」

14：10～15：00 講演①「故郷の川 千曲川と生きる」

講師：寺島正友氏

15：05～16：00 講演②「小説『破戒』を通じて 郷土を知る」ある取り組み

講師：藤田温彦氏・藤田理世氏



（６）特別講座

1月18日（土） 15時～17時 あがたの森文化会館 講堂

15：05～17：00 講演「戦争はいやだ！」の思想ー白鳥邦夫と「山脈の会」ー

講師：大串潤児氏



（７）特別講座

2月9日（日） 13時30分～15時30分 県立長野図書館 3階 信州・学び創造ラボ
サテライト会場：信州大学中央図書館（松本キャンパス）

13：35～15：30 講演：「歴史的類似性から読み解く

ーガザ・ウクライナ・満州ー」

講師：鵜飼 哲氏



○渡辺知弘

信濃毎日新聞社報道部デスク。信濃毎日新聞社報道部、佐久支社、諏訪支社などで記者活動。文化部では地域史を担当した。共著『明治維新の残響』。論文「清沢洌の思想史的研究」（『信大史学』第28号所収）、「清沢洌論」（『戦争と民衆の現代史』所収）

○堀井正子

長野市在住。信越放送「武田徹のつれづれ散歩道」レギュラー。カルチャーセンター、八十二文化財団などの講師。執筆担当・信濃毎日新聞「クレソン」の「ことばのしおり」、長野市民新聞「こだま」など。著書に『出会いの寺 善光寺』『日々 ことばのしおり』『一茶さんの子守歌』など

○望月 誠

学校法人 長聖 長野女子高等学校教頭、兼 Summit Academy Secondary School 社会科教諭。2022年度松本大学教育実践改善賞受賞。共著『日本の歴史を描き直す - 信越地域の歴史像 -』（文学通信）『栄村誌 歴史編』（2022年）など

○河原千春

信濃毎日新聞文化部記者。横浜市出身。2007年信濃毎日新聞入社。編著に『志縁のおんな もろさわようことわたしたち』、編集に『新編 おんなの戦後史』（もろさわようこ著）、『沖縄ともろさわようこ 女性解放の原点を求めて』など。お茶の水女子大学大学院ジェンダー社会科学専攻在学中

○寺島正友

高井地方史研究会会長 元高野辰之記念館館長 元県立歴史館文献史料課長 教育学修士。 共著『幕領中野陣屋の支配機構と民政』『絵巻と旅する信州』『川と人の営み千曲川 石にぎざまれた願い』『栄村誌』『須坂市誌』『飯山市誌』他

○藤田温彦・藤田理世

定年後に夫婦で豪雪の飯山に東京から二拠点移住。自家ブランド米「かざまつり」の栽培・販売、スキー場勤務、アウトドア・観光ガイドを通じ、飯山の自然・習俗・生活等に興味を持ち、理解を深めるために、信州の生んだ文豪「島崎藤村」の読書会を2年前に始めました。現在、飯山が舞台の小説『破戒』を全国の仲間と楽しんでいます。

○大串潤児

信州大学人文学部教授を経て、2024年から国立歴史民俗博物館教授。主著に『「銃後」の民衆経験』岩波書店（2016年）、編著に『国策紙芝居』御茶の水書房（2022年）等がある。近年では、戦後長野県の青年団運動についての研究会を主宰している。

○鵜飼 哲

一橋大学名誉教授。専門はフランス文学・思想、ポスト植民地文化論。『テロルはどこから到来したかーその政治的主体と思想』インパクト出版会（2020年）など著書多数。国際秩序を再建し、ガザ即時停戦への道を探る「学者の会」、「中東研究者有志」にも関わる。